

「船で旅立つ意義」—海外研修航海へのいざない—



学校法人東海大学
海外研修航海企画委員会
委員長
総長
松前 達郎

学校法人東海大学では、1968年以来、本学所有の海洋調査研修船「望星丸」を使用した海外研修航海を毎年実施してきました。飛行機による海外旅行が普通の時代である今、なぜ船で旅立つというのでしょうか。

現代の文明社会に生きる我々は、コンピューターやインターネットなどの高速通信に代表される高度な科学技術に支えられ、当然のようにその恩恵を受け、日々の生活を送っています。このような社会に生きる我々は、その利便性ゆえ、生身の人間やかけがえのない自然と触れ合う機会が減少しつつあります。これからの社会を担う諸君にとって今こそ、異なる生活・文化を体験し、「人間として大切なもの」、「環境と人間の関係」をもう一度見つめなおす旅が必要なのではないでしょうか。

過去38回の海外研修航海に参加した学生は、延べ2760人に及びます。参加者の多くは必ず、「陸では味わえない感動や発見があった」と感想を述べています。「教師や仲間と寝食を共にし、時に人生を語り、訪れる島々の異文化や自然に触れる」、そういった船旅ならではの体験の中に、感動や発見を見出すのです。

この海外研修航海は、本学の特色ある教育活動として、第1回航海から30年以上に渡り、参加した多くの学生達に「一生の思い出」を与え続けてきました。「国際的視野に立った世界観・人生観の確立を目指す」「共同生活を通し、人間形成をはかる」という研修目的を達成すべく、今後も、諸君と共にこの海外研修航海の歴史を創り上げていきたいと思っております。

大いなる可能性を秘めた未知なる海。その海を越えて今、我々は船出しようとしています。それを価値あるものとするのは、諸君自身の決断と行動にかかっています。未知なる可能性に挑み、諸君の人生に有意義な経験を付加する機会となる第39回海外研修航海への積極的な参加を期待します。

■ 研修目的
この航海は、本学の海洋調査研修船を使用し、海外の諸文化・諸事情に触れ、実体験を通して、国際的視野に立った世界観・人生観の確立を目指す。また、船内という限られた生活環境の中での共同生活を通して、人間形成をはかることを目的とする。

■ 研修内容
船上では、学園傘下の高等教育機関から参加した学生が、団役員とともに共同生活を営む。洋上キャンパスでは、英会話講座・洋上講座などが開かれ、寄港地について自ら調査・発表したり、天文クラブ・音楽クラブなどの活動を行う。また、赤道祭や寄港地の人々を招く船上交流会など、様々な行事を団役員とともに創り上げる。寄港地では、大学訪問、班別のグループ研修等を行う。

■ 募集要項
実施期間：2008年2月15日（金）～3月29日（土）44日間
コース：清水→マジロ（マーシャル諸島共和国）→フナフチ（ツバル国）→ポートビラ（バヌアツ共和国）→ヌメア（ニューカレドニア）→ポンペイ（ミクロネシア連邦）→清水
参加費用：398,000円（但し、日本国内における交通費、自由研修中の費用、パスポート及び査証申請費用は含まれない）
※留学生についての詳細は、事務局にお問い合わせください。
参加申込：本申込書（海外研修航海ホームページよりダウンロードも可）に必要事項を記入、捺印のうえ、2007年9月25日（火）～10月20日（土）までの間に、所属校舎教学課（学務課・教務課・事務室）へ提出すること。

■ 参加申込後の日程等（予定）
選考：研修学生は、参加申込者の中から面接等により選考する。
選考日：10月下旬の予定。面接場所・日程等は所属校舎の教学課（学務課・教務課・事務室）が指示する。
発表日：2007年11月22日（木）各校舎で参加許可者を掲示する。
参加手続：2007年11月24日（土）～12月10日（月）

必要書類を所属校舎教学課（学務課・教務課・事務室）へ提出し、参加費用398,000円を手続期間内に納入すること。納入後、自己都合により参加を取り消す場合は、原則として以下の基準により返金を行う。※但し、振込手数料は本人負担。
◇ 参加手続期間内（参加許可発表日当日～参加費納入・必要書類提出締切日当日）……全額返金（実費は除く）
◇ 参加手続期間終了日翌日～予備研修開始日7日前……参加費用の90%返金
◇ 予備研修開始日6日前～予備研修開始日前日……参加費用の70%返金
◇ 予備研修開始日～予備研修期間内……参加費用の50%返金
◇ 予備研修終了日翌日～出港当日……返金なし

渡航手続：パスポート及び査証等の手続は、旅行代理店（イーエスツアー）より連絡があるので、その案内に従って行う。
予備研修：2007年12月23日（日）～25日（火）、東海大学三保研修館（静岡県清水区三保）にて行う（開催地までの交通費は自己負担）。なお、予備研修に不参加の場合は、原則として研修航海への参加資格を取り消すものとする。また、研修に対する姿勢が不適切と認められる場合も参加を取り消すことがある。

旅行保険：主催者により以下の保険が参加者に対して加入されるが、各自で別途、任意の海外旅行傷害保険に加入することは差し支えない。
死亡・後遺障害……5,000万円 傷害治療費用……300万円 疾病治療費用……300万円 疾病死亡……1,000万円
賠償責任……5,000万円 救済者費用……300万円 携行品……10万円 ※補償項目、金額は予定
その他：◇ 参加申込後の日程等、詳細に関しては随時通知する。事情により研修日程等が変更になることがある。
◇ 病気その他いかなる理由にせよ、大学が計画した交通機関以外で帰国した場合の費用は、自己負担とする。

■ 単位の認定
次の成績評価基準を満たすことにより、自由選択科目として「海外研修航海実習」4単位が付与される（複数回参加した場合でも単位の付与は1回とする）。①事前研修への参加および課題の提出 ②洋上研修全日程への参加 ③洋上研修終了後のレポート提出および修了証の授受
なお、東海大学以外の機関の詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

■ 団役員の構成
団長1名、副団長1名、団役員（医師）1名、団役員（看護師）1名、団役員12名 計16名

■ 主催・事務局
学校法人東海大学国際戦略本部 〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117 Tel 0463-58-1211（内線2771）

第39回海外研修航海 参加申込書

私は、第39回海外研修航海に参加を希望いたしますので、保証人（保護者）連署の上、以下の通り申込みます。

2007年 月 日 申込

本人記入欄	ふりがな 氏名	Ⓜ		性別	男・女	
	ローマ字			国籍		
	大学名			校舎	学部	学科
	セメスター・学年	セメスター・学年	学生証番号	喫煙の有無	有・無	
保証人記入欄	住所	〒		住所	〒	
	ふりがな 氏名	Ⓜ		本人との関係		
本人記入欄	住所	〒		住所	〒	
	TEL(自宅)			TEL(携帯)		
保証人記入欄	住所	〒		住所	〒	
	TEL(自宅)			TEL(携帯)		

※ 本申込により大学が収集する個人情報は、本研修に伴う業務にのみ使用し、これ以外での目的では一切利用されることはありません。

キリトリ線